

直接支台築造法における2種レジンコア材料と 根管象牙質の接着に関する多面的評価



目で見ると
海外論文発表

松本 真理子*

Multiple Evaluation of two contemporary
direct build-up resin core systems by μ TBS, SEM, EDX, TEM and μ CT.

Key Words : resin core dentin, adhesion, multiple evaluation

<参加会議名> 2013 Biennial Joint Congress of
CPS-JPS-KAP

<開催場所> JEJU, KOREA

<渡航期間> 2013年4月12日~2013年4月14日

<発表タイトル> Multiple Evaluation of two con-
temporary direct build-up resin core systems by
 μ TBS, SEM, EDX, TEM and μ CT.

韓国の済州島で開催されました、2013 Biennial Joint Congress of CPS-JPS-KAPに参加し、口頭発表を行ってきました。本学会は、中国、韓国および日本の3カ国合同の歯科補綴学会であり、各国の研究者ならびに臨床ドクターにより、基礎研究から症例報告等の臨床分野まで幅広い内容で活発に発表が行われた学会でした。

その中で私は、歯根部分の象牙質とレジン（歯を修復する際に使用する材料）の接着に関して、物理的評価とミクロおよびマクロスケールでの形態学的評価をあわせて行ない、接着を阻害する因子について詳細に検討した内容の発表を行ないました。この研究は、普段の臨床に則した手法で実験をしているため、内容が伝わりやすく、興味を持っていただいた先生から、アドバイスやさらなる疑問点をいただき、今度の研究の幅を広げる貴重な場となりました。この経験を活かして、今後もこの接着分野での研究

に精進して参りたいと思います。



発表の様子



会場の様子



発表会場の入り口



*Mariko MATSUMOTO

1983年8月生

大阪大学大学院歯学研究科卒業 (2013年)

現在、顎口腔機能再建学講座クラウンブ

リッジ補綴学分野 研究生 博士 補綴

TEL : 06-6879-2946

FAX : 06-6879-2947

E-mail : mmatsu@dent.osaka-u.ac.jp



学会のポスター前で医局員と撮影 (左から2番目 教授)